

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2021

2

第35巻2号
(通巻402号)



顔の表情は他者とコミュニケーションをはかるうえで重要な役割を果たしている。なかでも口とその周囲はもっとも可動範囲の広い部分で、表情を表すのに重要だ。口をへの字に曲げる、口を尖らせる、口元をゆるめる、大口を開けて笑うなどがすぐ思いつく。喜怒哀楽、好意や敵意は口元にすぐ表れるのだ。ところが新型コロナウイルスの蔓延以来、他人と接触するときには、マスクの着用が当たり前になり、これらの表情が伝わりにくくなってしまった。先頃、透明なマスクを着け注文をとるそば屋の女の子のハロウインのカボチャのような笑みにわたしは大いに気をよくしたものだ。女のかわいさは口元にある。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「こちよさ」の追求

4
社会参加の推進

時間外 研修

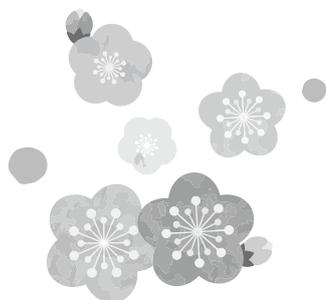
C V P P P (包括的暴力防止プログラム)

12月14日、事故予防研修の一環としてCVPPPの時間外研修を行わせて頂きました。本来であれば暴力を受けそうになった時の対応などを、実際に身体を動かしながらの実技を中心に行う予定でしたが、コロナ禍であるためCVPPPの理念、精神科の暴力行為の実態、暴力に発展させないためのポイント、暴力に遭遇した時の事例などを中心に講義をしました。

CVPPPとは、包括的暴力防止プログラムの略称で、暴力の防止という点、抑制する、制圧するなどと考えがちですが、暴力を起こす人をネガティブに捉えるのではなく、適切な介入をすることにより「援助をする」ことを前提としたプログラムです。その内容の中には興奮した患者さんを効果的な力を使って落ち着かせる身体介入方法や、とっさの時の逃げるテクニックなども含まれますが、ディエスカレーションといわれる交渉術があり、暴力に発展させないためには、非常に重要なスキル

となります。基本的には共感し、治療的信頼関係を作っていくというプロセスなのですが、これは普段から、患者さんと接する時に、少し意識することで培われていくスキルであると言われていきます。暴力を目的の当たりにした時の介入方法も非常に重要な要素ではありますが、個人の価値を認め、相手の尊厳を保ち、批判しないで共感的に接する意識を持つことが、暴力防止の最大の方策である、ということを念頭に置きながら日々、患者さんと関わって頂きたいと思えます。

ブリエ病棟 輿水 陽



幡野さんの朗読会

2020年12月10日に、幡野広美さんによる朗読会が開かれました。幡野さんはこれまでに朗読会を3回開催しており恒例の行事となっております。今回はコロナ対策を行いながら開催されました。

今回は、芸術家であるジャン・フランソワ・ミレーの生い立ち(前回の続編)についてのお話でした。クリスマス飾り付けがされた静かな作業療法室で、ゆったり丁寧な幡野さんの朗読を聞いていると、とても穏やかな気持ちになりました。

みなさんご存知のとおり、ミレーの絵画は山梨県立美術館に常設されています。この朗読会に参加された方の中にも絵画を見たことがある方がおり、ミレーに思いを馳せながら朗読を楽しむことができたとの感想が聞かれました。

幡野さん自身もこの朗読会をとても張り合いに感じており、日々練習を重ねているそうです。コロナの影響で人が集まる機会を作りにくい状況となっておりますが、次回の開催を楽しみに待ちたいと思います。



令和元年度 目標管理発表会



◇ 殊勲賞 ◇
ケアポート峡西
田艸川智恵美

地域へのアプローチ第2弾

南山会キャラバンメイトの取り組み

◆認知症になっても『住み慣れた街で最後まで尊厳を持って暮らしたい』そんな暮らしの実現に向けて、地域に、認知症の人とその家族への理解を広げていくことが、私たちキャラバンメイトの使命と役割です。

◆通常は、南アルプス市や家族の会との共働で認知症サポーター養成講座の開催や、峡西老人保健センター主催の招待ゲートボール大会での『物忘れ相談会』、地元地域の皆様のボランティア協力のコーディネートなどの活動をしています。

認知症ケアで地域に貢献

令和元年度テーマ

Ⅱ 専門職の人材育成 Ⅱ

目標

◆南アルプス市内の医療・介護に従事する専門職の人材育成に貢献するため、認知症ケアのスキルアップ研修を開催する。

◆一つの試みとして有料での開催とし、専門職としてスキルアップを目指す人、意欲や志のある人がどの程度いるのか？どのようなニーズがあるのかを探る。

実行②

*研修テーマの選定

『認知症高齢者の排泄ケア』

*講師(2名)選定と依頼

・山梨大学大学院総合研究部 教授 谷口珠実 先生

*4月に依頼し10月の研修日程が決定

・山梨厚生病院

皮膚・排泄ケア認定看護師 手塚 奈緒美 先生

*お二方とも日本コンチネンス協会所属

*参加募集・周知徹底

①市介護福祉課より市内の介護事業所の情報をいただく。

②チラシ・申込書を作成。

手渡し・郵送等で配布

結果

*参加職種

・病院看護師、介護事業所の看護・介護士・相談員、ヘルパー、ケアマネ、福祉用具専門員、事業所管理者、など幅広く参加

*市内参加人数

・第1回…44名、第2回…53名、第3回…34名

と目標を上回る結果となる。

・他、甲府市・笛吹市など市外からも見学参加有。

まとめ

*日常の業務・現場で困っていることや実践で役立つこと、より専門的なことなど、医療・介護現場で働く人たちのニーズから適切なテーマ設定ができ、実践で使える講義をしてくれる講師が依頼できれば、お金を払い時間を費やしても学びたい意欲のある専門職が、市内には数多くいることが解りました。

*アンケートの参加者の声は単に「良かった」と言うものではなく『すぐに実践できることを学べた』『現場のケアに直結する専門的で角度のある研修の意味は大きい』『日々行っているケアが確かなエビデンスに基づくものだと、自信を持って提供でき、ご本人・ご家族にも納得していただける説明ができました』との声がほとんどでした。

最後に

・今後、民間レベルでの『支え合いの地域づくり』が急ピッチで進んでいくでしょう。

・その中、私たち南山会キャラバンメイト連絡会は、今後も、南アルプス市の認知症ケアを担う人材育成と専門職のスキルアップのため、微力ではありますが、各種研修会の企画・運営・講師派遣を通し貢献していきたいと考えています。

実行①

*研修計画作成

・1講座500円で設定

・現場での業務になるべく支障のない夜間の時間帯を設定。(夜

6時30分～8時30分)

・結果目標は、一講座30名

・興味・関心の高いテーマと最先

端の研究に携わる講師を選定。

・運営役員・監修として市・家族

の会に協力を依頼。



クリスマス会



12月17日(木) OTホールにてクリスマス会が行われました。今年も新型コロナウイルス感染症予防のため参加人数を制限し、入場前に検温と手指のアルコール消毒を入念に行い、ソーシャルディスタンスを確保し午前と午後に分けて実施しました。

昨年は歌手をお迎えし、職員による演劇を行いました。今年もバルーンアート『風』(保坂様、川口様、野澤様)のボランティア3名がバルーンアートをづくりとピアノ演奏を行い患者様に楽しんで頂きました。

ピアノの演奏では患者様に馴染みのある「津軽海峡冬景色」「高校三年生」アニメ鬼滅の刃、主題歌の「紅蓮華」そして即興でのリクエスト「クリスマススイブ」の演奏があり「懐かしい」「上手だね」といった感想や、中には「ずさむ方もおりました。

バルーンアートでは、長い風船の棒から花や犬といった作品が作られ、「次は何が出来るとのだろう?」「凄いね」と皆さん興味津々に見ていました。作品をプレゼントされた方の中には嬉しくて泣いてしまう方もおり、職員もその姿を見て感動してしまいました。

最後にサンタが登場し、患者様にプリンやケーキのプレゼントがありました。イベント後は「楽しかった」「プリンがおいしかった」といった感想が聞かれ、例年とは違った様式での開催となったクリスマス会でしたが、患者様にとっては良い気分転換となりました。

精神科

デイケアだより

Q & A

* 峡西病院デイケアが大切にしている事って何ですか？

- ★ **ささえる**
健康と望む暮らしを **ささえる**
- ★ **かなえる**
その人らしく生きていくための夢や希望を **かなえる**
- ★ **つながる**
必要とする支援や仲間 **つながる**
- ★ **ひろがる**
可能性と希望が **ひろがる**
スタッフ一人一人が4つの視点を大切に、
利用される方と共に、夢や希望が叶えられるよう
応援しています。

プログラム紹介

目標志向型プログラム

「コミュニケーションプログラム」

【活動曜日】 木・金曜日 午前

【活動場所】 ミーティングルーム2など

【活動内容】

デイケア卒業を目指す方を対象にした、コミュニケーションについて学ぶ「土台」プログラムです。木曜日はグループワークと座学形式の講義とを交互に行っており、おおむね一年をかけて必要なスキルを習得します。金曜日はSST(社会生活技能訓練)を中心に取り組んでいます。実際の生活場面を想定し、せりふや動作を実践する応用的なトレーニングを行っています。

ときには心理的に
負荷がかかる場合
もあるかもしれませんが、
受け身に
ならず、
積極的・能動的に
参加して
くださることを
期待しています。

スタッフより

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。☎055-282-2151

* ホームページがリニューアルされました。ぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけん Times

各グループに分かれてクリスマス会を行いました。
ケーキを手作りして、みんなで食べて楽しいクリスマス会になりました。



本の紹介コーナー

今回は、匿名希望さんにおすすめの本をお聞きしました！

本の題名：忘れられた巨人

(カズオ・イシグロ〈著〉、土屋 政雄〈訳〉／早川書房／2015年)

●読んだきっかけは？

本作品が発売される前からの大ファンだったので、発売当日に本屋で購入しました。発売当時は私自身が多忙な時期であったため、半年間ほど自宅の本棚に置いておき、時間ができてから1頁1頁を大切に読んだのを覚えています。

●おすすめのポイントは？

作者のイシグロさんは、長崎で生まれ、イギリスで育った英国籍の作家です。2017年にノーベル文学賞を受賞したので、イシグロさんの名前を耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。本作品の主人公は、アクセルとベアトリスの老夫婦。遠方に住む息子に会うために、老夫婦は旅に出ます。旅の途中、老夫婦にはさまざまな出来事が起こります。老夫婦を最後に待ち受けているのは果たして……。イシグロさんの作品に流れる通奏低音は、「記憶」だと思います。「記憶」というものが、人が生きていく上でどういった力になるのか（あるいは、ならないのか）。読むたびに考えさせられます。イシグロさんが紡ぎ出すセンテンスはととても美しく、文章を読むたびにため息が出ます。今年の3月には、新しい長編小説『クララとお日さま』が英・米・日で世界同時発売される予定になっています。こちらも、是非手に取ってみてください。



新 入 社 員 紹 介

松野 貴昌 (リスタート病棟／介護福祉士)

- ◆趣味 …… 車、海釣り
- ◆座右の銘 …… 何事も経験
- ◆好きな場所 …… 伊豆半島



「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者 - 医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

デザインから惹かれる時もあれば、テレビや映画などの媒体から興味を持つ事もある。コロンナ禍という事もあるが、本を手に取る機会が増えた様に思う。書名は同じものでも、出版社、単行本、文庫でそれぞれ装丁が異なる為、選ぶ楽しみもある。最近では映像化される事も多々あるので、そこから関心を持ち、手に取る事もあるのではないだろうか。頁をめくると、そこはもう別世界である。街の景色、市場の賑い、木々の木漏れ日、食事の匂いなどを肌で感じ、本の中の住人となる。

その中でも私が印象に残っている本は、上橋菜穂子著の「守り人」シリーズである。ふとした事から精霊

万華鏡

「積み重ね」

私は機械関係がとにかく苦手だ。パソコン、スマホ等々…。今や生活、仕事上欠かせない。パソコンも、できることなら触れたくない。だから家では触らない。

本来は人間が機械を操作するの

ような…。とてもじゃないが、有能な機能を使いこなせてはいない。だから私は恥ずかしげもなく人に聞く。職場でも、お店でも。一人で操作して、データを消した後悔。何度したことか…。操作がわからないから機械から距離をとる。触れない。すると、ますますわからなくなり…。悪循環。

苦手なものから遠ざかるのは機械だけではない。計算も苦手。決して裕福ではないのにどんぶり勘定。「お金の増やし方」のキャッチフレーズは気になる。本を購入してまでとは思わないが、テレビ番組で取り上げられたりすれば見ることはある。しかし、理解できな



私の趣味

の卵を宿す事になった皇子チャグムを、用人棒であるバルサが守りながら旅をする事から物語が始まるのだが、シリーズである様に、多くの謎や伏線が含まれており、また、登場人物一人一人を丁寧に描いているので、夢中になって読み進めてしまった。そして、この本に惹かれるのは、現実感があり、単純な善悪と言う見方で人物を描いていない点である。一人一人の想いや過去が見えてくると、誰一人悪人がいない事が分かり切なくなる。

ステイホームが叫ばれている中であるが、これを機に多くの本に触れたいと思う。

栄養グループ 返田英理子

い。頑張つて日経二ユースを見る。株価がどうのこうの…チンプンカンプン。

でも自分のできる範囲で頑張っている。どんぶり勘定なりに節約を工夫する。パソコンも仕事上必要だから仕事中は頑張る。触れなければ少しずつでも理解し、できるようになっていく。初めから完璧にできる人なんていない。日々努力の積み重ね。

ネガティブ思考な私だが、周囲に支えられ日々の生活が送れている。今日も誰かに助けられながら…。

地域連携室 工藤和代子

こちら編集室

最近思う事があります。皆さんは夫婦での家事、育児は夫婦間でどのような割合で行っていますか？割合で表すのは難しいですが自分が考えるに世間は女性の方が家事・育児に費やす時間は多いのではないかと思います。私は負担をかけたくないので出来るだけ手伝うようにはしているのですが妻からのダメ出しや要望、指示が多いです。終わりのないノルマと化している様に感じます。こんな思いをしている男性は多いと思います。ダメ出しが多いからと言って家事から逃げるのが根気よくするのかが大きな分かれ目だと感じます。

今はSNSが普及している時代で、インスタグラム等を拝見していると「私の旦那はこんな人だ」的な内容がいくつも載っています。内容は様々ですが「何もしない旦那」と言う内容が実に多いと感じました。それを見た時に何故か分かりませんが頑張ろうと思えました。内容から考えるに何が重要なのか、それは夫婦間で協力することだと感じます。「やる」のではなく「手伝う」と考えると良い夫婦関係が築けるのではないかと思います。

便利な世の中になっていきますがその反面大きな恐怖もあります。SNSは不特定多数の人が閲覧出来ます。何でもかんでも投稿せず医療従事者として人として注意していきたいところです。

(す)

今月の予定 2月

3日：褥瘡NST委員会

9日：行動制限最小化委員会

15日：栄養管理委員会
労働衛生委員会

今月の一枚



峡西病院のホームページをリニューアルしました！
リハビリ案内や地域連携室の紹介など情報が充実しましたのでぜひご覧ください。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

おでん酒 勤め帰りの ユートピア 石川 理

嬉しきや タバコ止められ 雪をふむ 今福 和人

柿食べぬ おやつ時に 時過ごし 大森真知子

このひとときの 楽しき時間

コロナ禍や富士は初日に輝きし カナメ

冬の日に ぬる苺の実 あざやかに 恵 風

元旦の強き光の初日かな 阪本みずほ

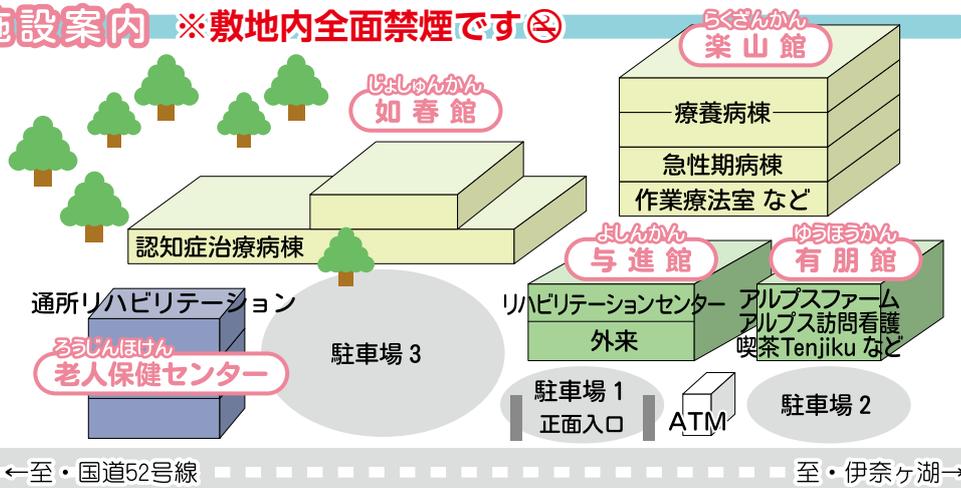
稜線を昇り輝く初日かな 塚原 光明

病室で心電図の夫と初日待つ 西谷 祥子

夜の窓 まめまきまいて 鬼は外 渡辺 あき

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第402号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会**

* 広報委員会 *

中山貴、佐藤和加子、土屋真実、保坂夏菜、須田浩紀、
河西崇子、塩澤千晶、櫻井千恵

次回403号も
お楽しみに!